

授業科目	言語学 I (音声学・形態論)				
担当者	松井理直				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

### ■ 授業目的・内容

STにとって必要な日本語音声・音韻の詳細を説明します。

### ■ 到達目標

日本語の音声・音韻について習熟し、構音障害などを分析できる知識を身につけることを目指します。

### ■ 授業計画

- 第1回 言語学の導入
- 第2回 記号の哲学的性質
- 第3回 音声の基本的性質
- 第4回 日本語音素の概観
- 第5回 文字の性質
- 第6回 日本語における各種文字の基本
- 第7回 漢字とかな文字の関係
- 第8回 形態素の導入
- 第9回 異形態と形態素の分類
- 第10回 形態素と語
- 第11回 合成語の性質
- 第12回 形態素と語種
- 第13回 連濁について
- 第14回 動詞と後続形態素の性質
- 第15回 統語論の基礎

### ■ 評価方法

学期末のテストによって成績評価を行います。マークシート方式の試験での評価が100%となります。

### ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

予習時間は90分程度が必要です。また、復習時間は個人の理解度によりませんが、1時間程度必要になるでしょう。

### ■ 教科書

書 名：言語聴覚士のための基礎知識「音声学・言語学」第2版  
 著者名：今泉敏（編）  
 出版社：医学書院

### ■ 参考図書

書 名：日本語音声学入門  
 著者名：斎藤純男  
 出版社：三省堂

## ■ 留意事項

質問などは大歓迎です。授業中に分からないことがあれば、必ずその場で質問をするようにしてください。新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。